#### 留学報告書

工学部システム創成学科学部4年

派遣先大学名:スイス連邦工科大学チューリヒ校(ETH Zurich)

派遣先専攻名:Computer Science 国・地域名:スイス・チューリヒ

留学期間:2016年2月~2016年8月

### 1,都市と大学の紹介

#### 1) チューリヒ

チューリヒはスイス人口最大の都市であり、公用語はドイツ語。面積は小さく、人口も少ないのですが、国際的な大都市と言えるほど立派な設備や交通網が行き届いている、大変居住に向いている都市と感じています。

#### 2) ETH Zurich

ETH Zurichは世界ランキング毎年ほぼ1桁に入る名門ですが、あまり日本人に知らされていないのが残念です。アインシュタインの母校でほとんどが理工学部から構成されている学校です。

### 2, 留学準備

留学に行こうと決めたのは学部2年の12月でした。その頃は卒業後院進にするか就職にするか迷っていたが、働いてから海外の大学院に行くという選択肢を知ったのと、若いうちに多様な価値観に触れたほうがよいと考えたので、学部のうちに留学してみようという気持ちになりました。学部1年生のときから、とりあえずTOEFLとか持った方がいいと言われたので、学部1年の12月と学部2年の12月にIELTSを受け、学部2年の6月と11月にTOEFLを受けました。そのおかげで留学前は慌てて英語やらなくてよかったのは本当によかったと今思っています。手続きに関してんも、わずらしいものは特になく、指示に従って書類を提出するような感じでした。

卒業時期についてですが、私は当時どうしても4年間で卒業したかったので、一年ではなく半年の留学の上、一番授業への影響が出ない時期(4年の夏学期)に行こうと決めました。(今思えば本当に卒業を伸ばしてても一年間行っときゃよかったと思っています。)それについては学科や学部の教授の方、事務の方と相談を重ね、4年夏学期の必修科目はskypeでの参加で単位をもらうということにしました。実際チューリヒに留学している間、朝5:30に起きて6:00から11:00まで(東大の345限の時間ですね)skypeで授業を受けた回もありました。それらのおかげ今のところ4年間で卒業できそうです。

### 3, 授業

#### 1) カリキュラム変更

私は工学部システム創成の知能社会コース (PSI) に所属していて、普段は経営工学に近い勉強をしていますが、学部の交換留学なので、ETHでも学部のほうの学科に所属する必要がありました。当時あまりカリキュラムをよく読まず、Computer Scienceならいけそうという理由でそちら

にregisterしましたが、特別な理由がない限り変更は不能で、いざETHの授業が始まってから、内容があまりにも自分が勉強したものと違い、ついていくことがほぼ不可能だと気付きました。本当にしたかった勉強は、MTECという大学院のほうの学科で学ぶので、Computer Scienceに所属しながらそちらの学科の授業を取るというようなカリキュラムに決めました。そのことでETHに怒られたり予想よりあんまり単位を持ち帰ることができなかったので、学科選びはカリキュラムだけでなく、公開されている授業スライドの内容も確認しながら決めたほうがいいと思います。

#### 2) ETHの授業スタイル

チューリヒはドイツ語圏ですが、ETHでは全授業の1/3は英語で行われます。特に私が授業をとって居たMTECは特にそうでした。毎回授業で使うスライドを事前に先生が学生のmailboxに送信し、それを予習したという前提で授業を進めるスタイルでした。最初は大変だったが、そちらのほうがはるかに授業内容が頭に入りやすいと感じました。また、授業中のグループワークはやはり多いです。そして評価もとても厳しく、毎回の授業の提出物をちゃんと出し、授業中もグループワークにまじめに取り組むが、テストができないと単位は取れません。"出席点"や"授業態度"などのような救済措置は一切ない、競争社会?だなあと感じました。(実際ETHを4年間一回とも留年せずに卒業できるのはわずか3割ほどと聞いたこともあります)

#### 3) ドイツ語集中講座

学期が始まる前に2週間のドイツ語集中講座に参加しました。とても初心的なドイツ語だが、日常会話にちょこちょこ使えたので、とっててよかったと思います。また、ETHは留学生率が大変高いとは言え、ドイツ語圏からの留学生も多いので、やはり授業の休み時間はみなドイツ語で交流しています。この集中講座でできた友達が結局そのままグループになり、みんなで一緒にパーティ開いたり旅行に行ったりしましたので、参加を強くお勧めします。

## 4, 生活や交流

#### 1) week schedule

一週間のスケジュールについてはだいたい以下のような感じです。

	平日	土曜日	日曜日
午前	授業	ASVZでヨガ	旅行したり、ESNという留 学生向けの団体の活動に参 加したり。
午後	授業	部屋の掃除や洗濯など	
夕方	ASVZという運動施設でバ ドミントン(週1-2回)		
夜	授業の予習復習 or 寮の仲間で一緒に夕飯を作ったり遊んだり	ドイツへ買い物	

あまり忙しいという印象はないが、授業の進度も早く、予習が不十分だと、なんせ英語なのでついていくのが大変になります。また、自分にとって初めての一人暮らしでもあったので、意外と過度に洗濯したり掃除したりして時間を取られたりしました。

#### 2) ASVZ

ASVZというのは、チューリヒの大学生なら誰でも無料にいろんなスポーツに参加できる仕組みです。ASVZの体育館や運動施設は小さなチューリヒ市だけでも5つくらいあります。寮から徒歩5分のところに一つあったので、火曜木曜の夜はよくバドミントンしに行きました。また、土曜の朝によくヨガにも行きました。種類は大変豊富な上、スポーツを通して新しい仲間もできました。(http://portal.asvz.ethz.ch/english/Seiten/default.aspx)

#### 3) Gleis 7 & half ticket

Gleis7というの19:00-05:00の間ならスイス国内すべての鉄道(市内のトラム除く)に無料で乗れる一年パスのことです。これでドイツの国境まで乗れて、加えて夏場は日が沈むのも遅いので、よく19:06 Zurich HB(チューリヒ中央駅)発の電車に乗って、一時間ほどでドイツ国境にあるやすいスーパーに買い物しに行きました。スイス国内の物価はやはり相当高く、食事の質を保つためにもドイツへほぼ2週間に一回買い物行きました。また、half ticketというスイス国内の鉄道(こちらは市内トラムも含む)を半額で乗れる一年パスもあります。half ticketとgleis 7両方持つと、日曜日の朝はhalf ticket使って10:00頃に出発し、夜19:00にgleis 7で戻って来る日帰り旅行の交通費が1/4になります。

#### 4) ESN

ESNというのはチューリヒの大学に留学しに来ている学生を支援する団体です。定期的にイベントや交流会を開くほか、tandemという言葉を教えあうシステムもあります。tandemとは、教えられる言語と勉強したい言語が一致する二人の学生をマッチングする制度です。私はこれで2人のスイスの友達ができ、毎週2-3回tandemでドイツ語を学びました。時間や集合場所はすべて自分たちで決められます。tandemの友達とは毎週会うし、コミュニケーションが濃密に取れるので、大変仲良くなれます。ドイツ語を勉強すると書いていましたが、スイスの文化も同時にたくさん教えてもらえました。(http://zurich.esn.ch/)

#### 5) ドイツ語

学期前のドイツ語は2週間の集中講座ですが、学期中にも、Zurich大学が開講している週1回のドイツ語を履修することが可能です。私は普通のドイツ語コース(A1.2)と単語の授業を受講しました。また、夏学期の授業自体は6月末に終わり、テストは8月にあるので、7月はずっとテスト勉強にするのはもったいないと思ったので、7月中はMigrosが開催しているドイツ語言語コースに参加しました。(http://www.klubschule.ch/)Zurich大学が開講しているものは無料で受けられますがMigrosのほうは1ヶ月集中講座で990CHFでした。高めの出費になりましたが、そこでは学生だけでなく、会社の派遣でスイスに来ている社会人の方とも仲良くなれたのでいい国際交流にな

りました。学期中でもドイツ語の講座を開講しているMigrosみたいな私塾が多いので、授業に余裕な方はそちらもチャレンジしてもいいかもしれません。

#### 5, 保険について

保険についてですが、これからスイスへ留学に行こうと考えているみなさんに大事なアドバイスがあります!!スイスへ行く前に、日本国内で保険に加入される方が多いと思いますが、それらはほぼすべて無効になるので(スイス政府に認められない)、加入の意味がありません。スイスでは、留学している人にスイスでの滞在時間をすべてカバーしている保険への加入を要求します。日本の保険にすでに入っています、とみなさん書類を提出するのですが、今までほとんどの人は認可されず、スイスの保険に加入しなおすように政府から要求されました。私も東大指定の保険に入りましたが、そちらも認められず、ETH推奨のものに結局加入しました。(65CHF/月)保険はたくさん入っても、万が一怪我した時にもらえる上限が増えるわけではないので、スイス政府に書類提出するのも面倒ですし、日本では保険を買わず、最初からスイスの保険(ETH推奨のもののほうが英語で対応してくれるし安心できるのでおすすめ)に入ってしまったほうが手っ取り早いです。私が加入していたswisscareはインターネットからすごく簡単に申請できます。ETHの留学生向けに保険について説明しているページがあります。ぜひ参考にしてください。(最新版をごらんください)

( https://www.ethz.ch/en/studies/international-immigration-housing/health-insurance.html )

#### <u>6, 就職について</u>

私は学部2年の終わりに留学に行きたいと思って出願したが、実際いく時期が学部4年の夏学期なので、なんとかしてても学部3年のうちに内定を取りたいと思っていました。プレッシャーも大きかったが、その分集中して学部3年の秋にインターンへ参加し、学部3年の12月に内定をいただきました。私はたまたま運がよかったのですが、万が一内定もらえなかったら院へ進む手もあったのと、日系企業を志望する方は逆に4年の夏学期は厳しいので外資だけで勝負しないといけなく、リスクも高いです。すべての人の参考になるとは限りませんが、外資志望の方は両立が不可能ではないと思います。

#### 7, 最後に

この留学は、家族の支えやスイスでの友人たちの支えだけでなく、東大の学科・学部の先生方 や事務の方々の支えもあってこそのものだと思います。サポートしてくれたすべての方に、ここで 感謝させていただきたいと思います。本当にありがとうございました。

## 添付写真:

1) チューリヒの"雪だるま爆発祭り"。

雪だるまが爆発するまでの時間でその年の夏がよいものかどうか占う慣習があります。



## 2) ESNの活動その1 リフティング



## 3) ESNの活動その2 山登り



# 4) 寮で時々開かれるパーティ





5) 仲間とチューリヒマラソンに参加



6) オーケストラ鑑賞、オペラ鑑賞



